



納所小だより

第1回学校評価 特別号

令和7年 10月吉日
京都市立 納所 小学校
校長 別井 真一
TEL 075-631-2032

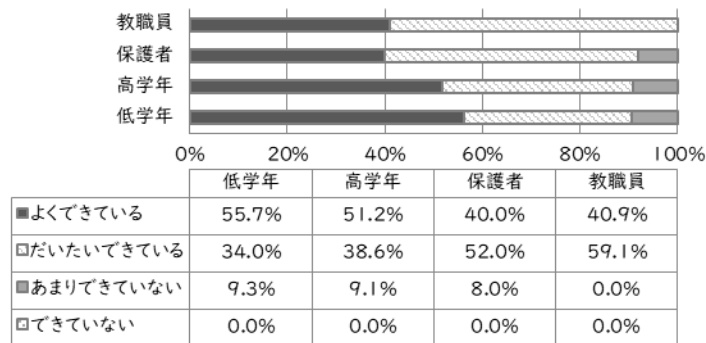
学校評価へのご協力ありがとうございました。集計結果より、児童の意識・実態、そして、保護者や地域の方のおもいや考え、教職員の認識や願いを考察しました。児童のよりよい成長へとつなげていきたいと考えます。

※1) 地域アンケートに関しては、児童の様子を見ていただいての結果となります。

※2) 保護者・教職員アンケートに関しては、児童への働きかけにおける結果となります。

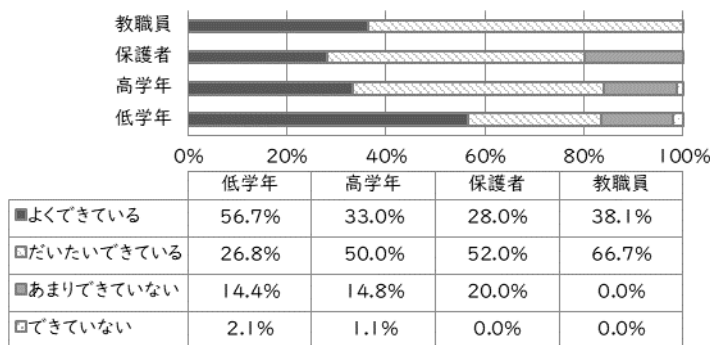
※3) アンケート結果を、小数第一位を四捨五入して整数での表記とさせていただいているため、合計数値が100%にならない項目もございます。

1 自分からあいさつしている



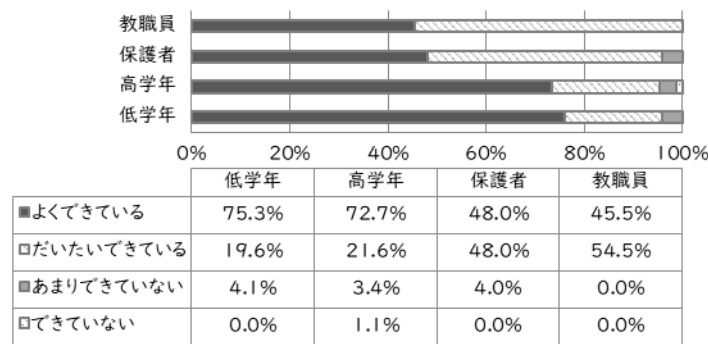
全体的にあいさつへの評価は高く、9割以上が肯定的な回答です。PTA 活動でも「声かけ運動」を実施したり、児童会活動でも「あいさつ運動」に取り組んだりしています。地域や保護者の方も一緒になりこの地域で気持ちのよいあいさつが広がってほしいです。

2 ことばづかいに気を付けている



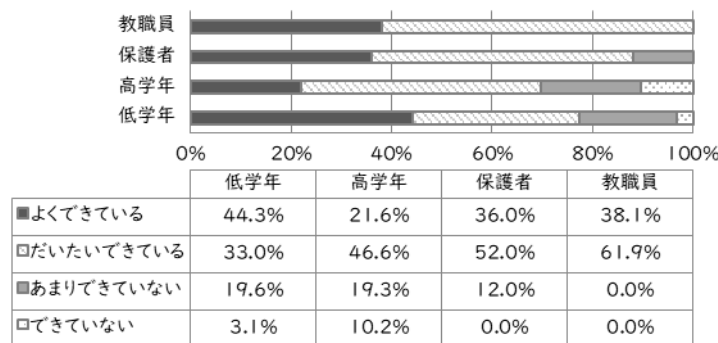
ことばづかいについては比較的高い意識があるようです。児童会からも「やさしい言葉を使おう」という呼びかけを月目標にして取り組んでいます。児童だけでなく大人たちもことばづかいに気を付けることでより温かな関係を築いていきたいです。

3 友だちを大切にし、仲良くしている



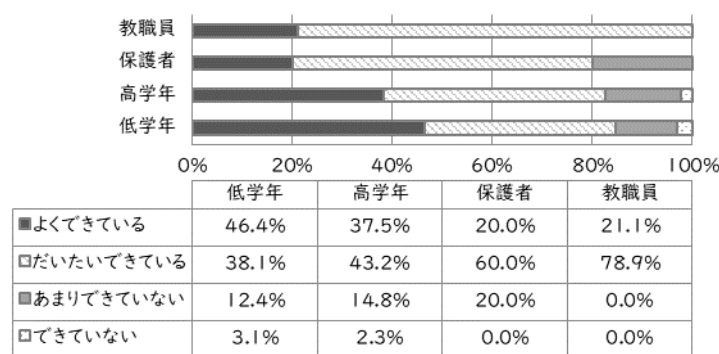
児童はほぼ「できている」と答えていますが、それに比べると大人の評価は低くなっています。道徳や「きずな学習」「なかよし週間」で、友だちとの関係をふりかえる機会を設け、また、懇談会などで保護者と子ども同士の関係性について情報を共有することが大切と考えます。

4 困ったことがあれば、先生に相談している



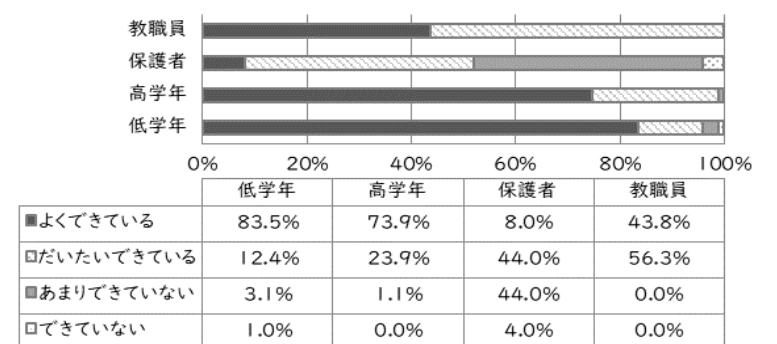
学年が上がる、となかなか相談できなくなる傾向が見られます。相談しやすい環境づくりや声かけの工夫が求められます。いつでも子ども達の心の声に気づき傾聴できる教職員でありたいと思います。

5 忘れ物なく、学習の準備ができている



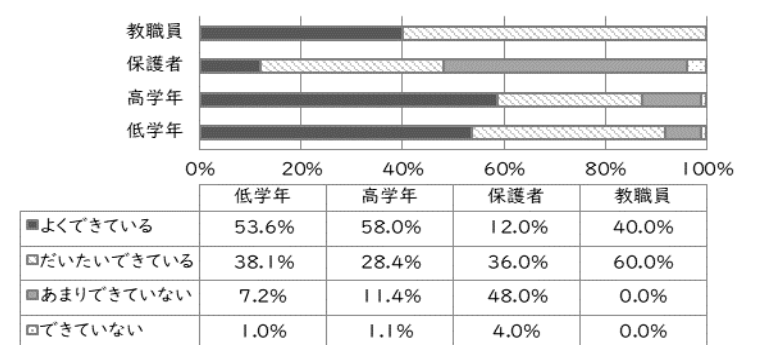
学年が上がるにつれ、持ち物の自己管理ができるようになってほしいです。チェックリストを作ったり個別に声かけをしたりして支援し続けます。安心して学習できるようご家庭でも確認をお願いいたします。

6 係や掃除・給食当番の仕事が最後までできている



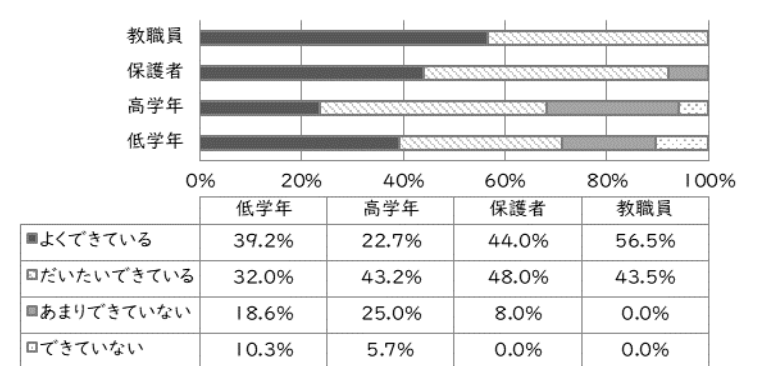
児童は学校において当番などの仕事に責任を持って取り組んでいます。しかし家庭でお手伝いをしている児童は少ないように思われます。家庭でも具体的な役割の内容を伝えたり、どれができるか選択させたりして、進んで仕事ができるよう促してほしいです。

7 はきものは、そろえている



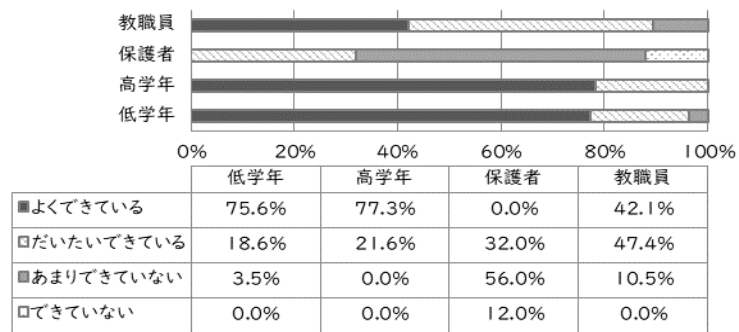
「はきものをそろえると心もそろおう」と言われますが、やはり気持ちの良い行動です。学校ではスリッパをそろえていることを褒めて返すことで、スリッパをそろえる意識を高めています。

8 自分のよいところを言える



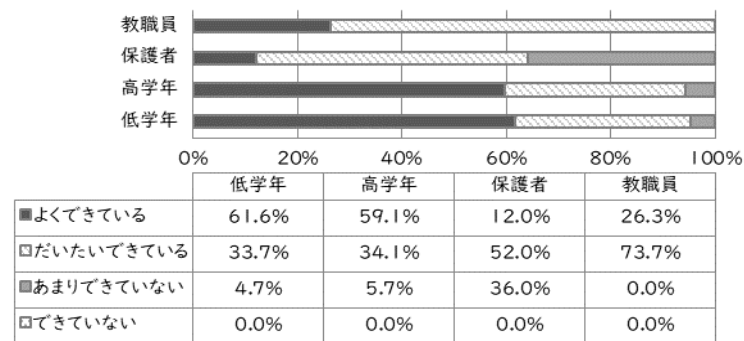
教職員は「よさ見つけ、よさ返し」を合言葉にしています。自分のよさに気づき、自己肯定感を上げてほしいです。自分の好きなことや得意なことを話せる場を増やしていくことも大切にしたいです。

9 災害の時の命の守り方を知っている



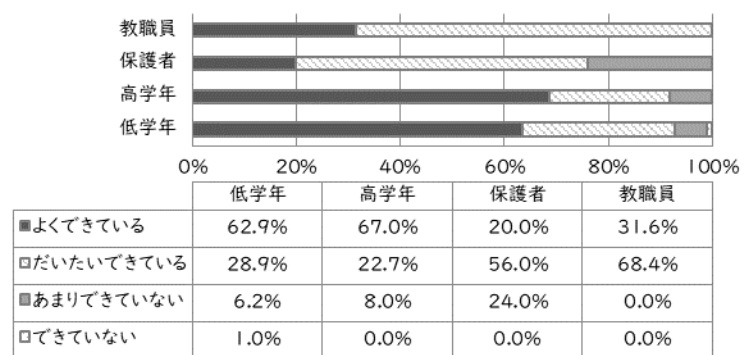
学校と家庭とで差が大きい結果となりました。家庭では実際の災害に応じてどのような行動をとるのか、話す機会がないのかもしれませんが。毎月の安全学習や避難訓練で学んだことを、児童が家庭でも話すように働きかけていきたいです。

10 授業がよくわかる



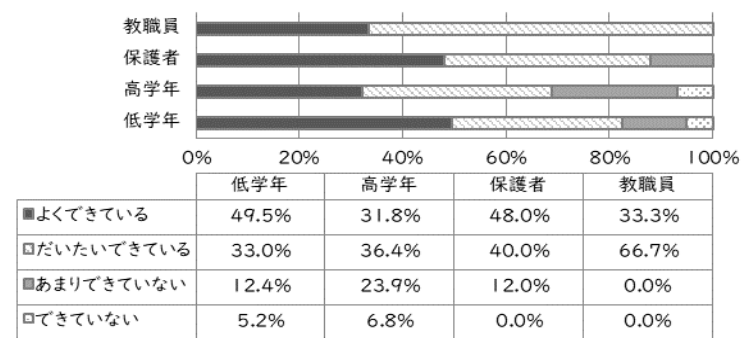
「できている」と回答した児童が 9 割以上となっています。一人一人が分かる授業を行うことができるよう、教職員の研修も重ねております。「分かる・できる」が「楽しい」と思える学習活動を進めてまいります。

11 授業中、話をしっかり聞いている



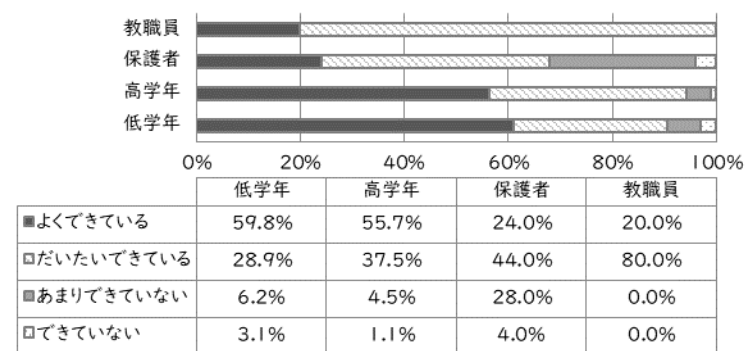
「できていない」の回答がわずかでした。授業中は落ち着いた態度で学習している学級が多いです。教師の話だけでなく、友だち同士で意見を聞き合い、自分の考えを深められるようにしていきたいと思います。

12 授業中、発表している



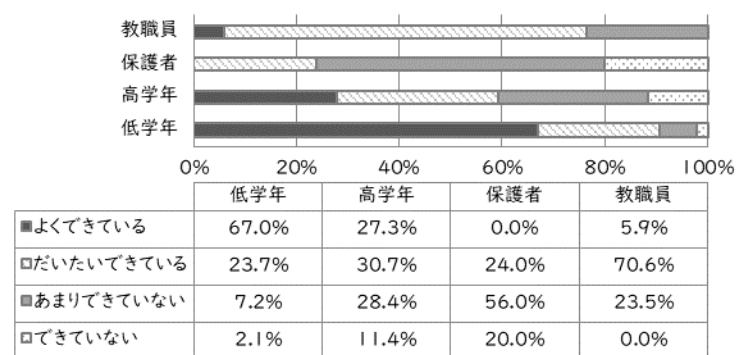
「聞くこと」と比べ「話すこと」には児童の自信のなさが見受けられます。学校では子ども達の対話を大切に学習を進めています。対話をする事で新たな学びが生まれる楽しさを感じてほしいです。

13 家庭学習に進んで取り組んでいる



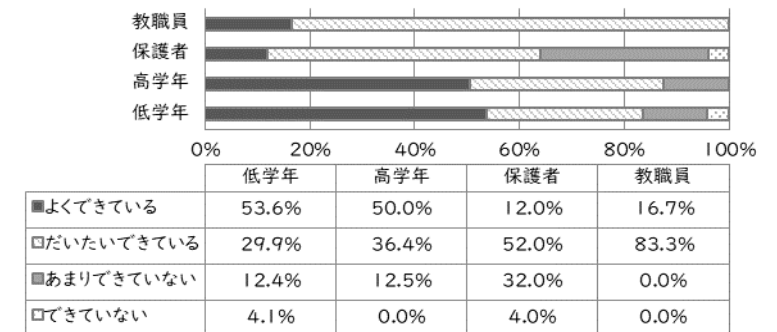
ほとんどの児童は家庭学習が習慣化しているようですが、なかなか取りかかれぬ児童もいます。一人一人に合った家庭学習について支援してまいりますので家庭での環境づくりにご協力をお願いいたします。

14 本をよく読んでいる



朝読書、国語科での並行読書など、本に親しむ時間を設けています。図書ボランティアの方による読み聞かせでも楽しい時間を過ごしています。学校でも家庭でも、自分の興味に合わせて、本に向かう姿を大切にしたいです。

15 規則正しい生活ができている



学校では健康教育に力を入れています。生活リズムチェックでは保護者の方に温かいメッセージをいただきました。学校では、保健の日を設定し、自分事として課題をとらえる機会を設けています。子ども達の成長のために、健康でよりよい生活を送ってほしいと考えています。

【地域の方の回答から】

地域の皆様には、「納所の子は進んであいさつをしている」「納所の子は丁寧な言葉づかいができる」「納所の子は友だちを大切にし、仲良くしている」「納所の子はきまりやルールを守っている」「納所の子は人の話をしっかり聞こうとしている」の5項目について答えていただきました。

おおむねできているという回答をいただきましたが、きまりやルールの項目には『あまり出来ていない』という回答もありました。

1年生や低学年の児童が明るくあいさつしている様子をほほえましく思っています。地域のみなさんともっと顔見知りになり、あいさつの輪を広げていきたいです。

きまりやルールの項目については、放課後や休日の自転車の乗り方についてご心配をおかけしているようです。学校では、安全指導にも力を入れ、「危険予測トレーニング」の大切さを呼び掛けています。学習内容を自分事としてとらえることが必要だと改めて認識いたしました。

子ども達の元気な声、明るい笑顔で、地域の皆様と共にすてきな納所地域を作っていきたいです。

今後も、児童・地域・保護者の皆様と一層コミュニケーションを図り、開かれた学校づくりをしていきたいと思えます。今後ともよろしくお願いいたします。

